



能代市地域おこし協力隊 星のおねえさんの取り組みについて

八巻 枝美

地域おこし協力隊として取り組みたいと考えている事

能代市

「宇宙のまちづくり」構想



長野県阿智村「日本一の星空ナイトツアー」

星空コンシェルジュとして携わった経験・ネットワーク

「宇宙のまちづくり」の問題点

ロケット実験場があることで「宇宙」をキーワードにまちづくりをしているが、実際ロケットや宇宙に興味を持っている人は限定的で、多くの人が難しそうで自分とは無縁の世界というイメージを持っている。



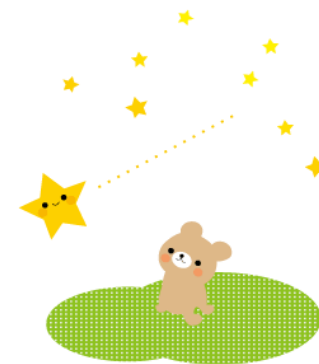
宙（そら）を見上げてみよう

空や星・宇宙の多岐にわたる魅力の総称が「宙（そら）」

その中でも“星”はいつも身近にあり、見るだけで誰もがその美しさに心動かされる。

まずは星や惑星を見ることから。実際の空、能代にはプラネタリウムもある。

そして人類が追いつける宇宙の不思議に触れ、その解明のために取り組むロケット開発の世界があること、そしてそのロケットづくりを担うのが能代のまちであることを伝える。目指せ！能代☆宙の街！！



能代を星の街に！！

能代☆宙（そら）の街プロジェクト（仮称）

宇宙に想いを馳せる宙（そら）イベントの開催
+ これまで能代市が進めて来た宇宙に関わる事業
能代宇宙イベント等の拡充

3.能代☆宙（そら）の街プロジェクト（仮称）

《目標》能代で星空を楽しみ、親しみを持つことで、多くの人に宇宙に興味を持ってもらう。

そして能代が宇宙と深いつながりのある街であることを知ってもらう。

能代を宙の街にするための2本柱

地元へ

観光客へ

- ・能代の星空を見てもらうための企画
- ・銀河フェスティバルと連携した企画
- ・宇宙イベントと連携した企画
- ・子ども館と連携した企画

星空を見ることで星や宇宙に興味を持つ
子ども館のプラネタリウムでいつでも星空がみれる



能代の星空が好きになる



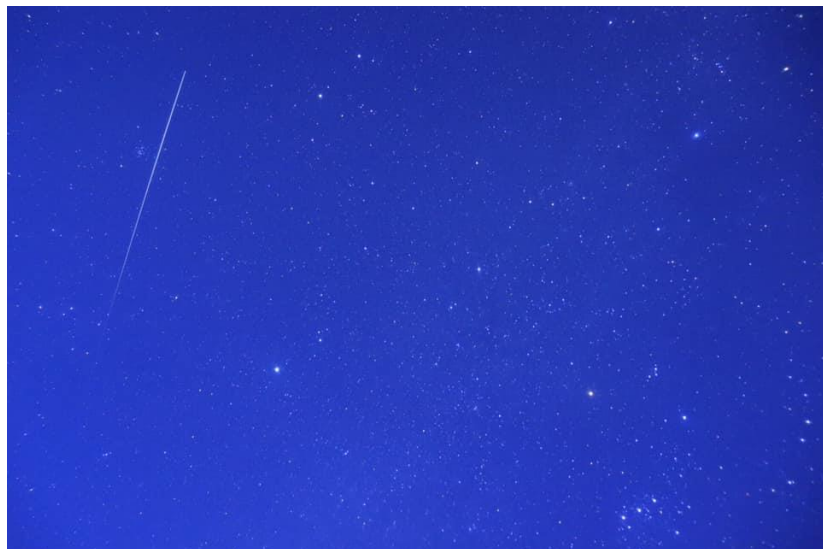
能代が宇宙のまちだと認識する



情報発信を積極的に行う！！

インターネット → ホームページ・SNSの活用

紙媒体 → 市広報紙・新聞・情報雑誌・チラシ等



4. 実際の活動について

星のおねえさんと夜空をみよう！ ～火星大接近！スペシャル～



今年は15年ぶりに火星が地球に大接近！
最接近となる夜に、望遠鏡で火星を
のぞいてみませんか？
星のおねえさんが今夜の星空紹介と
望遠鏡の使い方を教えます(^-^)

2018年7月31日(火) 20:00～21:30

★夜のイベントです。中学生以下のお子様は保護者同伴でご参加ください。

能代河畔公園 (子ども館西側の芝生エリア)

★雨天中止／くもりの場合、星のお話は開催します。

参加費：無料 (事前申し込みは不要。直接会場へお越しください)

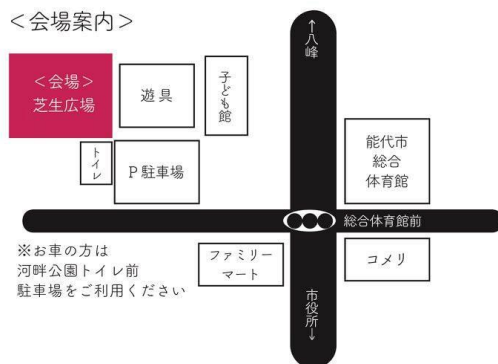
持ち物：レジャーシート・虫除けグッズ・懐中電灯など

アロマオイルを使った虫除けスプレーづくりのワークショップを開催！

2018年7月28日(土) 10時～12時／13時～15時

地域おこし協力隊事務所(能代市柳町8-6) 材料費：1つ300円

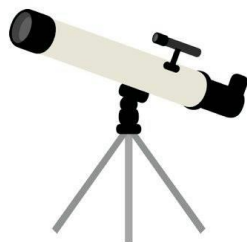
<会場案内>



<お問い合わせ>

能代市役所 市民活力推進課

0185-89-2212



主催：能代市地域おこし協力隊 宇宙のまちづくり担当 八巻 枝美





子どもたちに楽しんでもらう活動





のパワーを浴びる
満月ヨガ体験
in 市役所さくら庭

2018年7月28日(土) 20:00~21:30
ヨガ終了後、星望観望望遠鏡タイム有

参加費：おひとり様 500円 虫除けアロマキャンドル付
定員：15名(事前申し込みが必要、参加者多数の場合は抽選)

＜応募方法＞
7月20日(金)までに氏名・住所・年齢・電話番号・ヨガマットの有無を
メール(noshiroplanets@shirakami.or.jp)もしくはFAX(88-8912)へ

持ち物：飲み物・タオル・ヨガマット(ある方) ※194組に限りヨガマットの貸出があります
お問い合わせ：能代市役所 市民活力推進課 0185-89-2212

雨天時は
市役所大会議室にて開催

ヨガ講師
ささき あきこさん

主催・協賛：能代市地域おこし協力隊

金色の月を
能代で見るタベ
～プラザ都の屋上がハンパないって！～

★お月見弁当+ワンドリンク付(アルコール有)
★夜空鑑賞グッズが当たる星座ビンゴ大会開催！

2018年9月26日(水) 18:30開始
20:45頃終了予定

プラザ都 / 参加費お一人様 4000円
星座早見盤付

＝参加申し込み方法＝
9月18日(火)までに氏名・年齢・連絡先電話番号を
メール noshiroplanets@shirakami.or.jp もしくは
FAX 88-8912 までお送りください。
関係者に直接伝える、地域おこし協力隊 Facebook の



おとな向けイベント

能代市子ども館プラネタリウム室の活用

星のおねえさんと夜空をみよう！

新しく生まれ変わった子ども館のプラネタリウムを使って
星のおねえさんが今夜見える星空のお話をします★

2018年11月10日(土)

14:00~14:30

能代市子ども館2階 プラネタリウム室

参加費：無料 (事前申し込みが必要／100名限定・定員を超えた場合は抽選)

<応募方法>

11月8日(木)までに代表者の氏名・住所・年齢・連絡がとれる電話番号
参加者全員の名前と年齢を記入の上、以下のいずれかで申し込みをしてください。

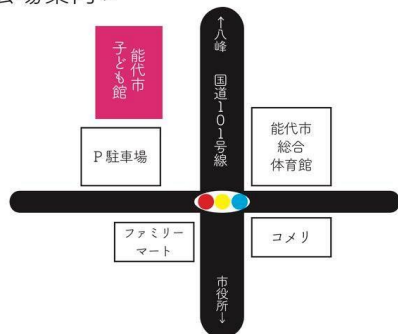
①電話 (能代市役所市民活力推進課 89-2212)

②メール (noshiroplanets@shirakami.or.jp) ③FAX (88-8912)

入場券などの発行はありませんので、当日受付にてお名前をお申し出ください。

<お問い合わせ> 能代市役所 市民活力推進課 0185-89-2212

<会場案内>



主催：能代市地域おこし協力隊 宇宙のまちづくり担当 八巻 枝美

大人のための

ヒーリングプラネタリウム

～音楽と秋田杉の香りで愉しむ満点の星～

2018年12月22日(土) 16:00~16:30

能代市子ども館2階 プラネタリウム室

参加費：無料 (事前申し込みが必要／100名限定・定員を超えた場合は抽選)

<応募方法>

12月17日(月)までに代表者の氏名・住所・年齢・連絡がとれる電話番号
参加者全員の名前と年齢を記入の上、以下のいずれかで申し込みをしてください。

①電話 (能代市役所市民活力推進課 89-2212)

②メール (noshiroplanets@shirakami.or.jp) ③FAX (88-8912)

入場券などの発行はありませんので、当日受付にてお名前をお申し出ください。

<会場案内>



お子様の同伴は可能ですが、泣いたり大きな声を出したりした場合は一旦外でお休みいただくなど、周りの方へのご配慮をお願いします。

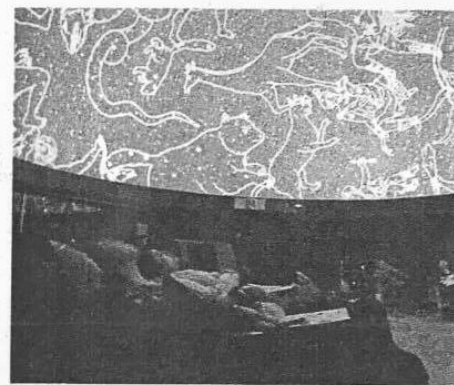
<お問い合わせ> 能代市役所 市民活力推進課 0185-89-2212

企画・主催：能代市地域おこし協力隊 宇宙のまちづくり担当 八巻 枝美

市子ども館
秋の星座に理解深め
プラネタリウムを楽しむ

能代市地域おこし協力隊の「星のおねえさんと夜空をみよう！」はこのほど、市子ども館プラネタリウム室で開かれ、来館者は投映された星座を眺めながら、秋の星座への理解を深めた。

この日は市内外から60人余りが来館。同協力隊の八巻枝美さんが秋の夜空に見える惑星や星座の解説をしながら、神話について、はじめに10月午後8時同館上空に見られる星を投映しながらカシオペア座にまつわる神話と星座を紹介。カシオペア座のアンドロメダの美しさを自慢したところ、海神ポセイドンの怒りを買ったアンドロメダが生け贄になるといった

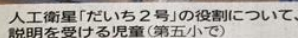
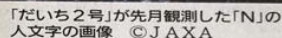


八巻さんの解説を聞きながら、秋の夜空を眺めた来館者たち (能代市子ども館で)

が、通り掛かったベルセウスが助けて、後に結婚した」と話した。

このほか、冬の星座が明るい1等星が他の季節に比べて多いことに触れ「今回紹介したほとんどの星座は市内で見ることができるので、ぜひ晴れた日の夜空を見上げてほしい」と呼び掛けた。

北秋田市から訪れた佐藤佑飛君(6)は「たくさん星が見れて楽しかった」と笑顔を見せ、母の亜由美さん(31)は「初めて知ったことも多く、私自身の勉強にもなった。子どもと一緒に星空を眺め紹介された星座を探してみたい」と目を細めていた。



高度833^キの画像に驚き

能代市第五小（佐藤充茂）で7日、陸自観測技術衛星「だいち2号」が先月観測した文字の画像が公開された。XAXA（宇宙航空研究開発機構）と公府公文字・日本平年平年団が全国の小・中学校を対象に展開する事業の環境。同校の校長市原・教員組合わせ、約200人がグラウンドに描いた「N」の文字を高度333kmから捉えた画像には「きり」と映って「ひびく」と驚きの声が上がった。

第五小
児童作った人文字
衛星「だいち2号」が観測

おり、同市では日本少年団・シロ分団（鈴木大雄分団長）と市域おこし協力隊員の八幡校義さん協力した。だいたい号はJAXAが運用。自然災害の被害監視や、地球温暖化防止に向けた森林の観測、資源探査などの任務を担っており、同事業では高精度な観測技術を活用し

を確證できる。映像がフジエタター1に映し出されることで、児童たちは歓喜を上げて見入った。白井さんらは「反射鏡の作成で、頑張った皆さんの思いが宇宙のどこにちろちろと広がっていった」と呼び掛けた。

人々は、だいち号が岩手沖の津波を通過した旨19日午前報告したが、全校児童驚きつつも、安全な状態で、残りの3学期まで、N字状縦並びの横並びのN字に並ぶ児童は最前列のN字シートを付けて制作したお守り(90円四角)を授け、だいちのレーダーは取り込まれた。

7日は、日本車中団活動員会幹事長、国活動員会幹事長、公益財団法人が来校し、6年と50人の児童、いち号が朝に想像を開いた。中央像はつきしたNの字

市で代能
燃き出しや心肺蘇生
日本赤十字会
小学生が体験イベント
県高年赤十字「R
C」一日リレーシ
ブ・トレーニング・セ
ンターはのほど、熊市
海浜の熊山本会交
流センターで開かれ、
同市三種町の小学生18
人が、非常時の炊き出し
体験と「R」で眼を解
決する「ロース」を通
して災害時や緊急時、共
同作戦が必要時に、気
付き、自ら動き、助ける
ことの本心を体験した。
日本赤十字社受入の
主催。集団の活動体験
を通して、自衛や指導
熊大カトリック
月例杯（第10回）

した。だいちのすこ
な原星多し感してい
る。窪田を夢にうな
き美したと語った。
佐藤良は、事業を通
じ、手への関心を深め
きたい」と語った。

非常時の炊き出し、共同作業に挑戦する児童たち

